

フォーミュラ大会頑張る



大会での活躍を誓う静岡理科大学チームのメンバーら＝袋井市役所で

袋井で壮行会 静岡理科大学大生が抱負

「第十六回全日本学生フォーミュラ大会(公益社団法人自動車技術会主催)に出場する袋井市の静岡理科大学チームの壮行会が二十九日、市役所一階市民ホールで開かれた。大会は九月四～八日の五日間、袋井と掛川両市にまたがる小笠山総合運動公園で行われる。大学生らが構想、設計、製作した小型レーシングカーの性能を競う大会。ガソリンエンジン車(ICEV)と電気自動車(EV)の二クラスがあり、騒音やブレーキの作動などを確認する「車検」、デザインやコス

トの「口頭試問」、車両を走行させ競技する「動的審査」などの合計得点で順位を決める。中国、インドネシア、タイなど海外チームを含めて計九十八チームが出場を予定しており、静岡理科大学チームは総合十五位以内を目指す。

壮行会は袋井市産学官連携推進協議会が主催し、チームのメンバー十八人や原田英之市長らが出席。大会用のレーシングカー二台も披露された。原田市長が「大会まで気を緩めず、努力の成果を発揮して良い成績を収めてほしい」と激励した。

励。チームリーダーの杉浦聖大さん(三)は機械工学科四年生が「二年間の頑張りを悔いのないように出し切ってください」と意気込みを語った。大会は入場無料で、誰でも見学できる。

(土屋祐二)